

平成 25 年度

# 事業計画書

平成 25 年 4 月 1 日から  
平成 26 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 アジア研究協会

## 平成25年度事業計画書

### はじめに

(アジアの近況)

先進国経済が低迷する中で、世界の発展成長センターとしてのアジア諸国が注目されている。また、アジアは日本企業の主要な海外進出先であるが、最近の中国状況により東南アジア諸国の重要性が高まりつつある。

このような状況のもとにアジア地域の総合的調査研究に関する助成事業もアジア諸国への社会貢献に寄与することを目的として積極的な取り組みが求められる。

事業ごとの平成25年度計画は次のとおりである。

#### 1. 助成事業（公1-1）

アジア諸国との相互理解の推進に寄与することを目的として、日本におけるアジア地域の調査研究、アジア諸国に対するボランティア活動及びアジアの人々との交流活動に関連する新規事業助成事業を立ち上げる。

#### 2. 人材育成及び国際研究集会補助事業（公1-2）

##### (1) アジア研究協会奨学生派遣事業

若手研究者研究奨励金の交付（200,000円×2名）

(アジア諸国の地域研究事業の一環として、アジア地域研究を専攻する大学院生に海外調査研究を行うための奨学金を助成する。毎年4月にホームページへ事業目的及び募集要項を掲載し、応募期間終了後の8月に選考委員会を開催、書類選考のうえ2名を決定して、9月に奨学金を交付。また、研究終了後に海外調査研究報告書を提出させる。)

##### (2) 国際研究集会補助事業

国際研究集会に対する助成金（300,000円×2件）

(アジアの学者等との交流をはかり、研究発表や情報交換を行う国際研究集会に、開催経費の一部を助成する。毎年4月にホームページへ事業目的及び募集要項を掲載し、応募期間終了後の8月に選考委員会を開催、書類選考のうえ2件を決定して、9月に助成金を交付。また、会議終了後に会議成果内容書と実績報告書を提出させる。)

### 3. 交流事業（公1-3）

#### 平成25年度 API(Asian Public Intellectuals)フェローシップ事業の支援

アジア地域の政治、経済、社会、文化の共通課題を解決するため、アジアの知的指導者（パブリック・インテレクチュアル）に、東南アジア近隣における研究・交流の機会を与えることを目的に設立された「日本財団アジア・フェローシップ（API フェローシップ）事業」の日本における事業を支援している。

API フェローシップ事業内容はホームページに掲載し、前年度に選出されたフェローの活動を支援する。平成25年度は、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ミャンマーの各国より、第13期フェロー計10名を受け入れ予定。来日中のフェローについては、研究会を開催して活動内容の発表機会を設ける。平成26年3月には京都大学東南アジア研究所にて日本フェロー向けの国内ワークショップを開催予定。また、助成期間中には決められた時期に中間レポートを提出させ、提出が滞った場合には督促の連絡を行なう。終了後は速やかにファイナルレポートを提出させ、後日報告会を開催のうえ成果をまとめ、報告書を作成している。

### 4. 学術図書刊行助成事業（公1-4）

「東南アジア研究」第51巻1号及び2号各90部の印刷代及び著作権料の助成（京都大学東南アジア研究所において、東南アジア諸国に対する最新の研究業績を掲載している「東南アジア研究」の出版経費の一部を助成。平成25年度は第51巻1号を7月に、第51巻2号を平成26年1月に刊行予定。）

—以上—